



議会だより

〔題字〕 山元 弥生さん（三井行政区）

第129号

輝く1本!全日本表彰

かわさき

平成30年2月1日発行
福岡県川崎町



森安修道館「少年剣道教育奨励賞」
受賞の報告 くわしくはP16



▲宮地神社にて
榎木康二さんより写真提供

12月
定例会議

子どもの権利条例の制定.....	2
第10回 議会報告会.....	4
6人の議員が登壇 ～ 一般質問 ～.....	7

今年度の議会だよりの表紙は、《大好き かわさき町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください
〔お問合わせ〕 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



条例

「子どもの権利条例」の制定

子ども・子育てにやさしい町づくりの推進並びに子どもの権利を保障するための支援の仕組みや子どもの権利侵害の救済及び回復に関する事項を定めるものです。これにより将来にわたって子どもの権利及び子どもの健やかな成長が保障されるのを目的としています。民生文教委員会では、より実効性のあるものにするため、運用の体制作りを要請し、運用体制図の提出があり承認、その後本会議で全会一致で可決されました。本町の制定は福岡県下で5番目の制定となります。



町営住宅の管理戸数を変更

長寿命化計画に伴い豊州団地が27年度に建築され移転後に2階建て5棟28戸を除却し、新しく大峰団地6階建て60戸を加えたことにより管理戸数が増えました。

町バスの定期券、回数券導入の条例一部改正案を否決

●総務常任委員会での審査結果

町バス定期乗車券、回数券の導入については、賛成少数で否決すべきものと決定しました。

反対意見

高齢者の減免規程を条例に盛り込むべき

賛成意見

川崎町地域公共交通会議で審議した結果を尊重すべき

●本会議での審議の結果

賛成7：反対8で否決されました。

反対意見（原議員）

高齢者は75歳以上を無料、あるいは病院に通院する方については控除するといった文言がない

賛成意見（樋口議員、櫻井議員）

この中身で半年なり1年なり運用してみて、試用期間として有効なデータが得られるのではないかと今回はしっかりと諮問機関で協議を経て、定期券・回数券の導入を提案してきたところでありますので尊重されるべき



補正予算

過年度国庫補助金返還金・水道会計長期等による増額

一般会計予算の総額は3475万円を追加し、116億5031万円となりました。

平成27年度年金生活者等支援臨時給付金返還金

所得基準を超えた方や、お亡くなりになった方が給付金の対象外となったため国に補助金を返還

747万円

水道事業会計長期貸付金

伊良原ダム完全受水に伴う配水管布設替工事

1000万円

川崎町観光協会事務所建設実施設計業務委託料

De・愛の横に観光協会事務所を建設するための設計委託料（議会からは建設場所について再検討を要請しました）

140万円

川崎町野菜レストラン改善工事費

従業員専用のトイレを確保

150万円

条例の一部改正

育児休暇を認める対象を非常勤職員及び臨時職員にまで拡大



非常勤職員等の育児休業が認められるには、引き続き雇用された期間が1年以上であること、子どもが1歳6カ月を経過する日まで労働契約期間が満了しても、再更新の可能性のあることなどの要件を満たすことが必要です。

育児休業の期間は、原則として子どもが1歳に達するまでの連続した期間ですが、1歳を過ぎても保育所等の空きがなく入所出来ない場合や配偶者が疾病等により養育が困難な場合、最長2歳まで延長可能です。

小学校に入学するまでの子どもを養育する場合、1日2時間範囲内で休むことが出来る部分休業についても、短時間勤務の非常勤を除き請求することができるようになります。

第10回 議会報告会

日時 2月15日(木) 午後7時～

場所 コミュニティセンター
1階多目的ホール

これまで女性の方の
参加が少なかったので、
女性の
意見を反映いたしたく
今回はテーマにも
工夫をしました。

多くの皆さまのご参加を
お待ちしております。



今回は、議会だより第129号(2月1日発行)の報告を行います。

その後の意見交換会では、参加された皆さまの意見・要望・悩み
をお聞かせいただければと思います。

例

LGBTQ

※1

子育て

学校教育

生涯教育

DV

※2

パワハラ

※3

議会

行政

等について



託児・手話通訳あります。

無料

託児を希望される方は、事前に「川崎町議会事務局」まで
お知らせください。

問い合わせ先

川崎町議会事務局 ☎0947-72-3000 (内線318・319)

※1 L レズビアン＝女性同性愛者 G ゲイ＝男性同性愛者 B バイセクシャル＝両性愛者 T トランスジェンダー＝身体上の性別に違和感を持った人
Q クエスチョニング＝自身の性自認や性的指向が定まってない人

※2 DV ドメスティック・バイオレンス＝配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振られる暴力

※3 同じ職場で働く者に対し、職場内で優位性を背景に精神的・身体的苦痛を与える。職場環境を悪化させる行為

工事請負契約の 議 決 内 容 一 部 変 更

池尻小学校大規模改修工事

1億6274万880円に(501万円増)

学校の要望によりスライダー黒板を予定の4教室から10教室に増、日当たりの悪い高学年棟の花壇
を撤去し駐車場に変更など

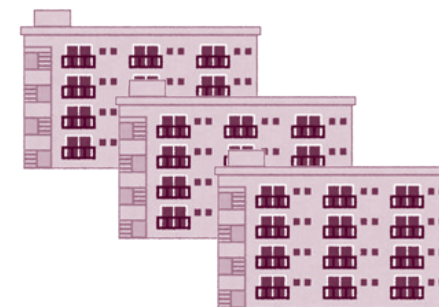
大峰改良住宅改善共同住宅建築主体工事

A号棟を3億8073万2400円に(199万円増)

B号棟を3億5890万7760円に(143万円増)

それぞれ高層であるため屋上の点検をする際、安全に行えるよう吊り管の設置、外構の精査など

建物明渡訴訟



事件名 建物明渡等請求 4件

原告 川崎町

被告住所 ・号四郎団地 1件
・三井東町団地 1件
・麦田団地 1件
・豊州団地 1件

滞納金 53万8100円～167万7000円

未来の子ども達のためにも滞納はやめましょう

地方独立行政法人川崎町立病院

平成28年度業務実績に関する評価結果

●「住民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上に関する事項」の大項目についてはC評価

●「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目についてもC評価

●「財務内容の改善に関する事項」の大項目についてはC評価

と大項目で全てにおいてC評価が妥当と判断した。

※C評価は、中期目標・中期計画の達成にはやや遅れている

平成28年度決算は、当期純利益は、776万円の赤字となったため累積積立金を取り崩し、同額の補填
を行った。

経営収益は、41万円の黒字であったものの赤字となった要因は非常勤医師の源泉徴収の不足10カ月
分(817万円)を遡って支払ったことによるものです。

平成29年度 第5回川崎町議会（10月定例会議）
議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果												関連記事
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	千葉	谷口	小田	見月	手嶋康	櫻井	寺田	
議案第21号	平成29年度川崎町一般会計補正予算(第3号)について	(可決) 簡易表決												

平成29年度 第6回川崎町議会（12月定例会議）
議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果														関連記事
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	千葉	谷口	小田	見月	原	手嶋康	櫻井	寺田	奈木野	
議案第23号	川崎町バス条例の一部を改正する条例について	否	否	否	賛	賛	賛	否	否	否	賛	賛	賛	否	賛	P2
報告第10号	専決処分の報告について(工事請負契約の締結に係る議決内容の一部変更について(池尻小学校大規模改修工事))	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第11号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第12号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第13号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第14号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第15号	専決処分の報告について(工事請負契約の締結に係る議決内容の一部変更について(大峰改良住宅改善共同住宅A号棟建築主体工事))	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第16号	専決処分の報告について(工事請負契約の締結に係る議決内容の一部変更について(大峰改良住宅改善共同住宅B号棟建築主体工事))	報告のため採決はありませんでした														P5
報告第17号	地方独立行政法人川崎町立病院の平成28年度に係る業務実績に関する評価結果について	報告のため採決はありませんでした														P5
議案第22号	川崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決														P3
議案第24号	川崎町子どもの権利条例の制定について	(可決) 簡易表決														P2
議案第25号	川崎町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決														P2
議案第26号	平成29年度川崎町一般会計補正予算(第4号)について	(可決) 簡易表決														P3
議案第27号	平成29年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)について	(可決) 簡易表決														
議案第28号	平成29年度川崎町水道事業会計補正予算(第2号)について	(可決) 簡易表決														P3

賛否表の表示は、賛…賛成、否…反対、㊦…欠席、㊧…退席、㊨…除斥となっています。
※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。
※除斥とは…利害関係のある議員を、その議案の審議に参与させないことです。

一般質問 よりよいまちづくりをめざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をただすことです。



谷口 武雄 議員

問 児童への防犯対策の強化は

答 安全安心のまちづくりを促進します

議員 先日も野菜を販売している方が、川崎東小学校通りで児童を誘って車に乗せようとしていた男性を目撃したそうです。その方が言うには「危険な箇所、人通りの少ないところは、先生が送っていけないのですか」とのことでした。
犯人は前もって通学路の綿密な調査をしているかもしれません。行政・学校側は児童の登下校は勿論、通学路の見直し、安全、防衛対策の拡充等、早急に考えるべきだと思います。

町長 現在、安全安心まちづくり団体事業補助制度の対象団体は、ボランティア団体・町内会・自治会・PTA・NPO等で設立された団体を中心に池尻校区防犯協議会が設立されています。

また、平成26年度には、川崎町交通安全協会・田川地域交通安全活動推進委員協議会・田川警察署少年補導員連絡会川崎支部の3団体が連携して、川崎町安全パトロールが設立され、2団体とも補助金の交付を受け、活動用のジャンパー、帽子、青色回転灯を購入し、安全安心のまちづくり団体として活動を行っております。今後とも促進、啓発を行って参ります。



▲薬物乱用防止学習

問 新学習指導要領に
向けての取り組みを

答 教育の主体的、対話的
深い学び方

議員 2020年から小学校で全面实施される新学習指導要領は、授業改善を目指すとともに業務の効率化をはかるものです。

1つ目は、教師1人1人が教科横断的な視点で実生活で役に立つ授業づくり。

2つ目は、質の高い学びを重視、実現する授業。

3つ目は、毎日必ず教室や廊下を巡視する。

4つ目は、夏期休業中に主体的な

対話的で深い学びの授業実践。

5つ目は、業務の効率化を図り、教育課程を見直し無駄を減らすとの活動報告が、本年度全国公立学校教頭会であったそうです。

今後の川崎町の対応をおたずねします。

教育長 御指摘のように新学習指導要領は2020年から開始されます。その前の2年間が移行期間であります。本町としては、移行期間から実施できるように努力して参りたいと考えています。

また、コミュニティスクールを導入しており、今後は学校と家庭と地域が協力し合いながら教育の目標をつくって参ります。



問 再犯防止推進計画の策定を

答 策定に向け検討する

議員 刑務所出所者などの再犯防止について、昨年12月に成立した再犯防止推進法には、地方公共団体は、地域の状況に応じた施策を策定および実施する責務を有するとありますが、本町ではどのような対策をとられていますか。

町長 川崎町保護司会を中心として社会を明るくする運動川崎町推進協議会とともに再犯防止についての取組みを行っております。保護司会では、各地区を担当している10名の保護司の皆さまで毎月定例会を開催し、情報を共有しながら再犯防止に向けた取組みを行っております。

議員 再犯率が高い薬物依存については若年層からの教育が非常に重要であり、薬物は一度使用したら自分の意志だけでは止められないということで県では学校での薬物乱用防止計画を推進していますが、本町では何らかの措置をとられていますか。

町長 保健センターで、薬物乱用防止のポスターを掲示し、啓発用の冊子の配布、相談があった場合は、医療機関等につなげながら連携を図っています。

議員 県教育長より、小中学校のカリキュラムの中で薬物乱用防止教室の実施を推進するようになっていますが、学校では何か取組みをされていますか。

教育長 警察等に来ていただいたり、校長会等で調整し、各学校で実施しております。

議員 再犯までの期間は、高齢になるほど短くなる傾向があります。特に、家族が高齢で生活に行き詰って再び犯行に及んでいる実態があります。本町でも地方再犯防止推進計画を

策定し、安全で安心して暮らせる社会を構築していただきたいのですが。

町長 田川地区は、人口に対し犯罪件数の割合が多いとされており、再犯防止は必要な対策と考えています。近隣の市町村とも連携を図り、策定に向けて検討してまいります。

問 老朽化した住宅の住人に措置を

答 抽選の公募と、斡旋をしている

議員 老朽化等で現在居住していない空き家は何軒ですか。

町長 11月現在、公営住宅185戸、改良住宅224戸、合計409戸です。入居可能な空き家は77戸です。

議員 老朽化により、転居を希望する居住者に対し、どのような措置がとられていますか。

住宅課長 ご希望の団地をお聞きし、斡旋をしていますが、なかなか同意を得られません。移転に伴って家賃が上がるのもネックになっているように感じます。

議員 費用対効果を考えると、解体予定の住宅に改修にお金をかけるのは、無駄だと思われるかもしれませんが、今のままだと他の市町村に転出する方が増えると思います。何らかの対応はできませんか。

住宅課長 特別な事情がない限り、年2回の抽選か斡旋に同意していただくしかありません。



問 教師の個別勤務実態の把握を

答 タイムカードの導入等検討

議員 文科省の学校における働き方改革を進めるため、すべての教職員の勤務時間を把握することが求められていますが、本庁の実態はどうですか。

教育長 出勤はもちろん退勤の管理が必要なのでタイムカードの導入、あるいは公務支援システムの導入を検討し、勤務時間の把握、集計に努めるよう検討しているところです。

議員 緊急時の連絡方法を確保した上、留守番電話の設置やメールによる連絡対応を初めとした体制整備のための支援も必要だと思いますが、どうお考えですか。

教育長 多くの担任は、生徒、親とのメール等がすぐ届くように登録していますが、メールが出来ない方にも電話連絡が出来るようにしています。

議員 給食費の公会計化を進めるとともに、学校徴収金について口座振替納付書等による徴収等改善に努めることになっていますが本町ではどうなっていますか。

教育長 いまだに封筒で配りながら徴収ということで担任の負担になっており、保護者には口座振替をお願いしているところです。今後、学校を通して全部振り込みのシステムをお願いすることが子ども達も安心できるし、先生たちの負担軽減にもなることから口座振替を進めさせていただいています。



問 日田彦山線災害復旧費の70億円 どう支援するのか

答 鉄道沿線自治体の連合体で考える

議員 ①7月5日の九州北部集中豪雨で被災した日田彦山線の復旧に対し、町としてどんな取組をされていますか。例えば株主となり復旧を積極的に後押ししてはどうですか。

②福岡方面への鉄道の利便性が良くありません。これを改善できませんか。

③川崎駅周辺の県道が狭く、県に改良の働きかけをすべきではありませんか。

町長 ①3市3町1村で作る沿線自治体連合会でJRに早期復旧を要望しています。利用客減少のなか国、県の支援がなければ復旧は困難との見通しです。

②平成30年3月にダイヤ改正があり、その際、新飯塚直通を増やして欲しいと要望しています。町も鉄道利用客増に努力せねばと考えています。

③国道322号線は平成32年度に供用開始予定です。一方、町内の県道改修は要望箇所が多く、なかなか進みません。今後とも県と協議を進めます。



▲交通の要、川崎駅の灯は消せない

問 画期的政策で過疎対策を

答 田川地域広域政策協会で広く検討する

議員 過疎債と言う借金をして公共施設を造り続けるだけでは人口減少は止まりません。例えば県立の災害備蓄施設、国際医療施設、世界難民救護施設誘致など突飛かつ画期的政策を提案します。

町長 大変難しい課題ですが、田川、筑豊の広域テーマとして誘致可能な施設がないか研究検討したいと思います。

問 ボラセン開設の進み具合は

答 平成30年度から社協でスタート

議員 地域ボランティアセンターの開設が切望されていますが、準備は進んでいますか。

町長 社会福祉課が中心となり平成30年度から社会福祉協議

会内にボランティアセンターを開設することで準備を進めています。

問 東京オリパラにあやかる体育振興を

答 広報イベントに積極的に参加する

議員 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて本町ではどんな体育振興策を考えていますか。

教育長 福岡県内を巡回するフラッグツアーがあり、本町も参加してオリンピックを盛り上げたい。子どもたちに夢と希望を感じてもらいたい。

問 中央公民館の復活を

答 若き社会教育主事の育成が急務

議員 昔は中央公民館が公民館活動を引っ張ってきたが今や衰退です。今後、専門の社会教育主事を復活させるべきではありませんか。

教育長 公民館活動が盛んだった昭和40年頃は、社会教育主事の有資格職員が10名程度いました。現在は、公民館活動への指導体制が崩れ、代わって地区公民館連絡協議会が発足し自主運営に努めています。若き社会教育主事の育成が急務だと考えています。



問 高齢者の免許証返納を

答 自主返納支援計画検討

議員 高齢者の運転免許返納事業についての相談窓口はありますか。

町長 運転免許証の自主返納の手続きにつきましては、特別に相談窓口は設けておりません。住民の方から問い合わせがあった場合は、田川警察署交通課及び筑豊運転免許試験場に於いて、運転免許証の自主返納手続きが出来ることを案内し、川崎町交通安全協会でも同様に案内していると聞いています。

議員 年齢を重ねる度、病院行きは切っても切り離せないのが高齢者です。最近までは買い物難民と言われてきましたが、自主返納により病院行き難民ができ、孤独死に繋がるのではと危惧しています。愛車は戸口から戸口まで便利な体の一部を手放すのですから、そのための支援策は。

町長 平成28年4月に福岡県が創設いたしました市町村高齢者運転免許自主返納支援事業補助金の助成を受けて、宗像市他10市11町村でコミュニティバスやタクシー回数券の配布を行っており、70歳以上の自主返納者1人につき5000円を上限に2分の1を福岡県が助成しています。支援サービスを行っている市町村の内容を検討して、高齢者ドライバー事故防止対策を推進するため、運転免許証自主返納支援の計画を本町も検討してまいりたい。

議員 田川市のコミュニティバスは70歳から無料です。どこよりも早く情報をキャッチして欲しいと思います。本町は65歳以上が何名いますか。

高齢者福祉課長 約6000人弱でございます。

議員 今から返納しなければならぬ高齢者が多くなると思っています。独自に本町ではこんなことが出来るといった政策を立てていただきたい。コミュニティバスを田川病院まで田川市に問いかけ英断を揮っては。

町長 思い切ったことをやれば一番いいわけですが、そうもいかない状況もあります。発言、趣旨を十分に踏まえた上で、しっかり検討させていただきたい。今、田川地区の広域政策協議会の中でコミュニティバスを連携させて効率的な運営出来るような政策を検討しようと思いたばかりです。



問 福祉バス・コミュニティバスの無料を

答 過疎債の活用について検討

議員 A町では無料バスであると聞いています。1市7町村の実態をお聞きします。

町長 コミュニティバスの運行の形式は違いますけど、有償運行は田川市・添田町・川崎町。無料運行は香春町・赤村・糸田町・大任町・福智町。状況はそこそこ違いますけども有償運行は1市2町です。

議員 高齢者と障がい者の方には心ある接し方をしなければいけないのでは。

町長 これはまさしく、政策の問題ではありますが、本町では大人100円・子ども50円ですから無料に近い所で運行しています。糸田町では一般財源3100万円程1年間につき込んでいる状況で、他町ではない取組として評価できると思います。

議員 無料の町は、過疎債を使っていると聞いています。高齢者の人に喜びを与える様な政策を。

町長 無料バス運行するのに過疎債は使えないと思います。有償運行であれば、バスを購入する際、国土交通省から補助金があります。過疎債の活用については、もし他所でやっているとすれば少し検討させていただきたい。



問 町職員の年次計画は

答 計画は立てにくい

議員 年次別職員の計画、臨時職員を含む計画を示してください。

町長 平成29年12月1日現在の正職員は235名。臨時、嘱託職員は105名。30年度の退職者は18名に対し新規職員は9名を予定しています。地方公務員法および地方自治法の改正により平成32年度から町が真に必要な臨時、嘱託職員の募集後、面接試験を経て採用の制度が導入されます。今の短期間勤務を除く職員は、平成32年度以降は契約の更新をしない予定です。

議員 私が執行部に求めたのは、年度別職員の移行です。町の人口は毎年300名減っています。5年で1500名減です。職員の余剰人員が発生すると考えます。

町長 問題は再任用職員を希望するか、しないか。5年間の退職者の数は出ますが、何名採用するか計画は立てにくい。

議員 住民の代表議員として100%再任用、5年で再任用期間満了、新規採用職員を検討しながら計画可能と思うが。

町長 計画を立てることは当然ですが、政府では職員の65歳定年延長が議論されています。30年再任用職員の問題と65歳の定年延長、一応仮説での計画は可能です。

議員 再任用職員でも正規職員に準ずるよう65歳定年延長の条例改正をし、町として65歳以上の再任用はないこと。技術的に蓄積した方たち、今の状態では責任はなく

月に半分働けない、保険加入で身分保障はできたが働きにくい。知識を生かし草刈りなどは外注し、60歳から65歳は給料の変更、町長の考えはどうですか。

町長 再任用のあり方検討委員会を設置し議論いただき、答申の中身として議員が言われる3日ではなく5日間の勤務体制を確立する方向で検討いたします。

議員 臨時職員の賃金は安い。川崎町内の建設業者の賃金レベルを参考にさせていただきたい。

町長 最低賃金は絶対守り、事業体によってどのくらい支払うかはできると思いますし、当然参考にしたいと思います。

議員 以前本町では特開事業、改修事業は基本給が決まっており、使用する器具に歩合が決まっていた。1日1万2000円くらいの金額になっていた。現在は比較が適当かどうかわからない。

川崎町に企業が進出する場所がない。大峰改良住宅全部取り壊し、企業誘致用の土地にするとか、川崎駅裏、池尻駅周辺の今後の企業誘致に活用する、行政がスタンスを持って対応することを望みます。

総務課長 臨時職員の賃金は川崎町臨時任用職員に関する規則第12条第2項の規定により、町が必要とする知識、経験、技術、職種、勤務の特殊性を勘案し額を定めています。

議員 職種によって定めても経済の状況物価指数の変化、今国は

生活保護費4人家族で2万5000円削減しようと、これは大変な事態が予測される。働く意思のある方、たくさんの臨時職員を採用し、働く場を提供し賃金も見直したらいかがですか。

総務課長 平成32年から会計任用制度、1年ごとの契約になります。一般職員と同様の規則と条件、職員と同条件、新たな賃金表と給料表を作りその中で対応したいと思います。

議員 再三町長に話した特老の件、町の第7次川崎町高齢者保険福祉計画のなかで、平成29年度に60床新設の整備が必要であると規定されている。60床の認可が川崎町に下りていましたが、町長の意見書提出が無い流れ。川崎町の高齢者福祉に貢献する大義と町長の瑕疵をどのように思っていますか。

町長 正式には現在の川崎町は60床まで不足している状況ではありません。特別養護老人ホーム建設したい人は川崎町の中にいっぱいいます。1人だけに知らせて申請させそれを上げると、行政運営に支障をきたすので今回は辞めたところです。新しく申請を受ける際は、当然60床の要求はしていきたいと思っています。

議員 作らなかったことに町長は大きな責任があると思う。

町長 全然ない。

議員 貴方は無いと言うが、私はあると思う。

町長 私は極めて公平にやっているつもりです。



問 学校給食費の無償化を

答 無償化を実施できる財政状況ではない

議員 文部科学省は、公立小中学校の給食無償化に関する全国調査を実施しましたが回答は済みましたか。

教育長 小中学校給食費一律500円の減額と報告しています。

議員 本町の児童生徒数と就学援助などで給食費が免除されているのは何人くらいいますか。

教育長 生徒数は1223人で、519人が免除されています。

議員 全国で学校給食費の無償化を実施する自治体が増えてきましたが、本町でも無償化に向け1歩踏み出してもらえませんか。

町長 町の財政状況がとても厳しく無償化をやっていけるような状況ではないと思っています。



問 インフルエンザ予防接種費用の助成を

答 近隣の状況を考慮しながら検討

議員 福岡県下でもインフルエンザの予防接種費用の一部助成をする市町村が増えていますが、本町ではどう考えていますか。

町長 高齢者への助成は本町だけが実施しています。今後は他の世代についても、近隣の状況を考慮しながら検討する必要があると考えています。

議員 家族の1人がインフルエンザにかかると連鎖的に感染しがちです。接種をしやすくなることで発症を防ぎ、重症化や感染拡大の防止につながります。発症を防ぐという事は、最大の健康のポイントで医療費削減になるのではないのでしょうか。

町長 今後の町の重要課題として検討していきたいと思います。

問 リユース事業のその後の検討は

答 学校には数枚の制服の準備はできている

議員 昨年の6月議会で制服などの再利用をするリユースの取り組みについて質問をしましたが、その後どのような検討をされたのでしょうか。

教育長 友人や個人間での譲り渡しや卒業時に学校の方への寄付もあり、学校としてはリユースできるだけの数枚の制服等は準備できています。

議員 入学や進学時の準備費用は多額になり保護者の負担はばかになりません。制服や学用品のリユース事業は保護者の費用負担の軽減を支援するため必要な事業ではないのでしょうか。

教育長 高校でも卒業時に寄贈された制服を学校に保管しています。今後準備をお願いする要請はしていきたいです。



もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します



議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



新地方公会計制度に基づく財務書類を調査

総務常任委員会

現行の国や地方公共団体における単式簿記を採用した予算決算制度は、確定性、客観性、透明性に優れていますが、複式簿記と比較しますと、資産や負債などの状況を把握できないこと、減価償却や引当金といった会計手続きの概念がないといった弱点がありました。

そのため総務省は、地方公共団体に新たな4つの財務書類の作成を求め、川崎町においても新たな財務書類を作成しました。

今後は、各市町村が統一した財務書類を作成することにより、全般的な財政事情が明らかになり、限られた資産や財源を賢く使うことが期待されます。

委員会からは、各課の資産を精査して財務書類を作成すること、町職員が財務書類に精通するための研修会の実施を要請いたしました。

防災・減災の取組状況を調査

川崎町では、大雨による河川の氾濫箇所として4箇所を想定していて、大雨による氾濫防止のため、県等に河川の浚渫の要望や、水門管理者に適切な管理をお願いしていくと説明がありました。

大雨による土砂災害が予想される急傾斜地の対応状況としては、櫛毛地区は整備が終了していて、池尻地区の2箇所については、県と連携を取りながら取り組みを進めていくとのことでした。

委員会では、説明を受けた7箇所以外にも危険と思われる3箇所を指摘し、現地確認を要請しました。

また、全戸配布した防災マップには、町内の危険箇所、災害



▲川崎町防災マップ

に対する備え、避難場所の一覧も掲載されています。今後も防災マップ等を活用しながら、住民の防災に対する意識向上に努めていくとのことでした。

防災の取組、遊休資産の活用を視察



▲東松島市視察

宮城県東松島市視察では、東日本大震災の教訓を活かした自主防災組織による防災・減災の取り組みを視察しました。東松島市では明治29年にも津波による被害を受けたそうですが、長い年月が経ち、住民の津波に対する危機意識の風化が被害を拡大させたようです。本町においても災害は起こるものだという危機感を住民一人一人が持ち、防災、減災対策に取り組む必要性を感じました。

岩手県紫波町では、遊休資産を活用したリノベーションまちづくりについて視察しました。紫波町では2億7000万円の募金を町民から集め新駅を開設したものの、財政事情等により10年以上遊休地となっていた新駅の駅前用地を、民間の資金とノウハウを活用しながら遊休地の活用を図り、町の活性化へとつながった事例について貴重なお話を聞くことができました。



図書館と川崎幼稚園の状況を確認

民生文教常任委員会

図書館防水改修工事の説明を受けました。

主に屋根、内外壁の補修を行います。今後、スターバックスなどと連携した武雄市、社会福祉協議会と連携して障がい者とその家族が食堂を運営している伊万里市のように、飲食スペースの設置や各種団体へのスペース貸し、文化作品展示など、多角的な運営へ転換する時期に来ていると感じました。

次に、**改修工事を終えた川崎幼稚園**に伺いました。窓サッシのパッキン劣化、内壁の亀裂、断裂など追加補修が必要な箇所はあるものの、園児は明るく元気で、職員も生き生きと職務をこなしており、近所から柿が差し入れられるなど、地域に根づいたすばらしい運営が伺えました。



▲幼稚園視察

地域包括支援システム視察(石川県津幡町)

社会福祉協議会を中心とした地域づくりが基盤で、包括支援センターとともに地域の中に入って、地域の支えあいの体制や、さまざまなネットワークを築くことが重要であると感じました。



▲津幡町視察

ICT教育視察(佐賀県武雄市)

タブレットや電子黒板は、成績上昇の特効薬ではなく、児童生徒に学びの楽しさや達成感、協働作業を通じて社会性を育てていく重要なツールであると感じました。

総合福祉センター建替工事の説明

多種多様な機能を持つ地域の拠点施設として、障がい者や子どものために75センチ以下のカウンター、子ども用の小さなトイレ、地域団体などが使用可能なスペースの設置などを要望しました。

また、地域包括支援センターと連携し、高齢者が安心して暮らせるネットワークの構築、地域交流の場としてのカフェ設置など、まだまだ取り組めることが多くあると感じました。

教育委員会との意見交換会

教育委員さんと意見交換会を開催しました。

現在、スクールカウンセラーなどが月に数日配置されていますが、本当に腹を割って相談できる相手ではないようで、不登校、貧困家庭要因などの問題が多発し、人生の大事な時期に選択肢や夢を失う子どもが多いため、築城町での田川ふれあい義塾の工藤氏のように、町や地域を理解している経験豊かな専門家による相談指導の導入を要請しました。

また、小学校高学年の担任教師について、2年間に渡り多くの苦情が寄せられ、何度も教育委員会や学校に改善を求めましたが、改善が見られないため対応を協議しました。

この教師は、イベントの工作などに力を入れ、教科書の授業が完了できず、卒業して中学生になってもテストで低い点数しかとれず、高校進学においても選択肢をなくしているようです。

また、一部の児童を優遇し、意に沿わない子は退出させたり、校長の指導も聞き入れないようで、今後も児童や保護者、他の教師からの意見を聞いて改善を求めていきます。



石川県での研修視察にて再確認(10月24日～26日)

建設産業常任委員会

輪島市の本町・朝市通り整備事業について、内灘町「ミルク王国うちなだ」の取り組み、6次産業化支援事業等について研修しました。

川崎町も町内外にPRする特産品の開発の必要性を強く感じ、地元で生産されているものを使用した取り組みを提案いたします。

また、住民からの困っているという相談、例えば棚田の管理が高齢化とともに難しくなっているとの声によって、オーナー制の導入、稲刈り後にイルミネーションをおこなうなど、住民の声に耳を傾けることによって観光地は生まれるということを再確認することができました。

▼輪島朝市



▲道の駅ふらっと訪夢での地物市

河川の状況及び工事状況は

De・愛周辺の現地調査では、河川に砂などが堆積し、葎など草が生い茂っている状況を確認しました。

本町より県の方にDe・愛周辺河川の浚渫の要望を出していますが、今回の九州北部豪雨災害により工事が遅れると報告を受けました。

当委員会より、浚渫工事の際には、周辺の葎などの草刈りも一緒におこなうよう要望しました。

原屋敷線整備工事は、もみじ祭りに合わせ、路盤工事を一時見合わせる予定であることや街路樹にはモミジやイチョウの植樹を検討していると報告を受けました。

城山子どもの森公園のトイレ建設に関し現地調査を行い、執行部の計画ではトイレの個数が少ないのではないかという当委員会の指摘により、男子用小便器2個から3個へ、女子トイレの便器1個から2個へ計画の変更がおこなわれました。

特産品開発はここまで進んだ

川崎町の林檎を使用した2種類の焼き菓子を試食し、委員会としては形や大きさ、小梅ちゃんの焼き印を押してはどうかなど意見を出しました。

また以前より当委員会で要望していましたアップルパイについても再度提案するとともに、1日も早い販売とできるだけ町内で生産していただき、雇用につながるよう要望しました。



▲試食会

議会の傍聴においでください

次回定例会予定

- ◎3月 6日…本会議(初日)
- ◎3月 9日…本会議(中日)
- ◎3月16日…本会議(一般質問)
- ◎3月19日…本会議(最終日)

川崎町議会ホームページ <http://www.gikai-kawasaki.com/> **川崎町議会** 検索

今回の主人公



森安修道館 館長

原口 康裕 さん

この度、2017年度 全日本剣道道場連盟
少年剣道教育奨励賞を頂戴することが出来
たのも、川崎町をはじめ地域の方々のご理解
とご協力あってのものと、深謝いたします。

今後は再来年の50周年に向け、初心に帰り
指導部一丸となって、子ども達と共に引き続
き修練して参ります。

少年剣道教育奨励賞とは、草の根的に目立ため活動を続けて、
剣道の底辺を支えておられる団体・組織におくられます。



追跡レポート

小、中学校のトイレ改善

学力の底上げ向上には教育現場の環境充実が欠かせません。

中でもトイレは未だに和式で、掃除当番がきれいに磨き上げていても、家庭でもの心ついた時からずっと洋式
に馴染んできた子どもたちにとってみれば、悩みの種であるのは間違いありません。

そこで「民生文教委員会」は調査を開始、重ねて松岡久代議員、寺田 響議員から
一般質問があり、行政の取り組みについて回答を求めました。

その結果

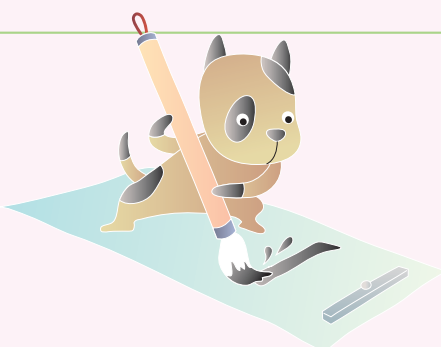
- ①池尻小学校での「校舎の大規模改修」の一環として**全部のトイレを洋式
に改善**、11月6日より使用開始。(写真参照)
- ②生徒用トイレ4カ所と障がい者対応の多目的トイレ2カ所、職員用トイ
レ1カ所、加えてグラウンドに面した外トイレの計8カ所を改善。
- ③そのうちの1カ所は、仕切りを工夫して学童保育にも兼用。
- ④**その他の小学校については順次計画。**



池尻小学校改修後のトイレ↑

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。
本年も議会だよりをよろしくお願
いいたします。
皆様にわかりやすくお伝えでき
よう一層努力してまいります。



● 議 長	北 代 俊 雄
● 発行責任者	
● 議会だより編集特別委員会	
● 委員長	千 葉 加 代 子
● 副委員長	手 嶋 真 由 美
● 委員	松 岡 久 代
● 委員	大 谷 清
● 委員	小 田 春
● 委員	寺 田 卓
● 委員	樋 口 秀 隆